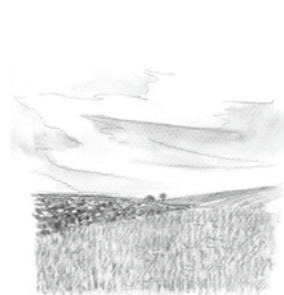


青少年育成くまの町民会議講演会開催

青少年育成くまの町民会議では、本町の次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に様々な活動を行っているのですが、そのためには地域の協力なくしては実現できません。今回は「子どもと生きる」と題し、教育の現状に関する講演を開催します。関心のある人はどなたでもご参加ください。

時 6月19日(木)午後7時  
所 町民会館 中研修室  
▽講師：府中町前教育委員長 青少年育成指導者 藤原凡人  
1 固生涯学習課 ☎820-5600



「この本、よかった！」(9)『くろくまくん』松澤由佳 (小学館)

皆さんにお勧めしたいくまどく本、今月は第二聖徳幼稚園からです。

中本百合香(れんげ2組) くろくまくんとしろくまちゃんたちが、きんいろのはっぱをみつめて、みんな、きんいろのおおきなきみあげているところが、さらさらしてすきです。

中本容子(母) 四季を感じる柔らかい色合いの絵にやさしいお話。4つある話それぞれの最後にくる、お父さんとお母さんがくろくまくんにかける素敵な言葉が、ほんわかした気持ちにしてくれます。



(生涯学習課)

平成26年度「くまのセミナー」事業計画

「くまのセミナー」では、「男女共同参画社会」をコンセプトにさまざまな講座・体験活動などを通して、男女が対等なパートナーシップを築ける社会を目指して活動しています。ぜひ一緒に楽しく活動してみませんか。

※主に土・日で行いますが、日程など詳細はHP・行う月の広報でお知らせします。

HP <http://www.mitaya.com/contents/seminar/>  
※年会費は1千円です(総会時集金)  
※すべての行事にお子様も参加できます。

	内 容
1	「総会&石釜ピッツアを焼こう！」 講師：伊藤まゆみ 総会の後、バジルを収穫してピッツアを焼きましょう。 時 6月15日(日)10:00~13:00 所 米蔵ぎやらりー三田屋
2	「竹林コンサート」 竹林の中で音と触れ合ひましょう。 今回は、昼間に開催予定です。 時 10月予定 所 くまの高原ファーム
3	男女共同参画講座 時 12月予定 所 熊野町民会館
4	三樹先生ワークショップ(体験型講座) 講師：三樹正典 先生 (広島女学院大学准教授) 今回も、先生と一緒に何か作ります。 お楽しみに。 時 H27年3月予定 所 熊野町民会館

生徒会活動

熊野高等学校

この地に(219)

熊野高校は4月7日に178人の38期生を迎えた後、生徒会による対面式や部活動オリエンテーションを実施しました。部活オリでは各部の2、3年生が実演を含め熱のこもった部活動紹介を繰り広げ、年々部活動が活性化している様子が伝わってきました。放課後には1年生全員参加の部活動ミーティングも開催され、その日のうちに登録する生徒も数多くありました。

5月には生徒総会・生徒会役員選挙が行われ、6月の熊高祭までは、引き継ぎをしながら新旧の生徒会役員で活動します。今年の熊高祭テーマは「駆けあがれ~夢に向かって」に決まりました。19日(木)は合唱コンクール、20日(金)は「開会式」(非公開)、21日(土)は一般公開で、恒例の3年生による食品バザー、中庭で文化部や有志の発表などを予定しております。

今年度も地域の多くの方にご来校いただき、熊野高校が「駆けあがる」様子をご覧いただけるよう全校で準備を進めて参ります。



活動の様子

固熊野高等学校 ☎854-4155

熊野が育てる  
熊野を育てる

熊野町  
教育委員会

やまびこ

(15)

『しかる』と『おこる』

子育てをしている親ならみんな「善悪の判断ができる子どもに育ってほしい」と思っているはずですが、しかし、生活経験の少ない子どもほど(最近は大人でもあるような気がしますが…) やって良いこととやってはいけないことの区別がつかない(善悪の判断ができない) が増えていると思います。そうならないためには注意を促す場が必要です。



さて、注意を促すとき、皆さんは「叱っていますか。」「怒っていますか。」

『しかる』は相手に向かって諭す動作です。つまり、我が子に対して「これはやってはいけないことだよ」と諭す心の動きです。つまり<For You>なのです。ところが、『おこる』は自分の(親の)腹立たしい感情を子どもにぶつけているに過ぎません。これは<For Me>です。ですから、その心を子どもは目ざとく察して怒る親の前では良い子になることを自然に身につけます。「家では良い子なんです。どうして学校では(幼稚園・保育園も同じ) そんなことをするんでしょうね。うちの子に限って…」と思われたことはありませんか。子育ての原則は『褒めて育てる』だと思います。しかし、それだけでは子どもの育ちを十分に手助けすることはできません。子どもと過ごす毎日の中で「今日こそは良いところを見つけよう」と朝起きたときは思うのです。それでも、朝食の用意をしているところで「お母さん、今日持っていく上靴はどこにある」なんて叫ばれると、つい小言が言いたくなって「昨日、しておきなさいと言ったでしょ。もう、あなたはいつもこうなんだから。ちゃんと前もって準備しておきなさい。」と叫んでしまい、『良いところを見つけ』はお預けになってしまいます。その時すぐに、自分の失敗に気づけばまだ良いほうで、気づくのはその日の夜、子どもが寝てしまってからだったりするのです。そういう経験もあるのではないのでしょうか。

ついその子の苦手なところや未発達な部分が気になって、他と比較したり非難したりしてしまいます。そういう時はたいてい『おこる』になっています。大人が(親が) 落ち着いて考える1ステップがあれば、『しかる』に変えることができるはずですが、深呼吸を一つ試してみてください。どうすれば苦手なことを克服できるかを子どもと一緒に考えれば、良い対処法も見つかるかもしれません。苦手なことが苦手でなくなった時の喜びは大きく、親子で共感できます。更に子どもの得意とするところを見つけ、誉めることによって自信を持たせる育て方が出来れば最高です。親が生活すべてのお手本となって「いけないことはいけない」と諭してこそ、正しい善悪の判断ができる子どもに成長してくれると思います。(学校教育課)

広告

読み  
書き(硬筆・毛筆)  
計算(そろばん)

## 生徒募集中

子育て支援

読み・書き・そろばんの

# サンライトスクール

中溝4丁目9-11 / 東山4-4

- ・幼児かきかたランド
- ・そろばん教室
- ・小1、2対象
- ・毛筆、硬筆 書写教室

読み 書き そろばん教室

Tel 082-854-0101 / Fax 082-854-8800